

平成30年度ボルダリングツアー第一戦 実施細目

- 1 会場 クライミングジム インフィニティ *参加費 1,500 円
- 2 日程 平成30年8月3日(金) 8時30分より
- 8:30~ 8:50 受付 参加費納入 (ウォーミングアップは垂壁のみ)
 - 8:50~ 9:00 役員打合せ(受付付近にて)
 - 9:05~ 9:20 競技説明・諸連絡 *予選デモなし
 - 9:30~10:30 予選1組 (60分間で6ボルダー・コンテスト方式) 女子30名
 - 10:35~11:35 予選2組 (60分間で6ボルダー・コンテスト方式) 男子31名
 - 11:40~12:40 予選3組 (60分間で6ボルダー・コンテスト方式) 男子30名
 - 13:00~13:10 決勝アイソレーションクローズ(予定) *集計後すぐにオープン
*1階奥のケイブエリアがアイソレーションゾーン(トイレ利用時は役員が付き添う)
 - 14:20~14:23 男女決勝オブザベーション(予定) *男女6名予定
 - 14:30~15:30 決勝競技(最大各4分間・3ボルダー・IFSC決勝方式)
*男女同時進行
 - 15:40~ 成績発表

- 3 参加選手 男子 61名・女子 30名 計 91名
*予選: 女子は1組(30名)、男子は2,3組(2組 31名、3組 30名)

4 競技方法

<共通>

- ① スタートは、両手、両足ともに必ず指示された通りのポジションからスタートしなければならない(4点を明示している)。両手は必ずホールドを保持すること。
- ② スタートホールド以外のホールドを触ったり、主催者側が用意した以外のブラシでブラッシングしたり、ホールドにチョークを付けたりした場合にはアテンプト数に数える。
- ③ 原則として終了点のホールドの両手保持(両手を添える)で体を安定させ、審判の「OK!」の声によって「完登」とする。(自分の判断で降りた場合は完登とは認められない。)
- ④ 競技終了のブザーが鳴ったら競技続行はできない。(ブザービートなし)
- ⑤ 「ゾーン獲得」とは、そのホールドの片手での保持(両手の場合は指示がある)による。
- ⑥ 「完登」、「ゾーン獲得」の詳細はセッターの指示に基づく審判の判断による。
- ⑦ 成績は、完登数の降順、ゾーン獲得数の降順、完登に要したアテンプト数合計の昇順、ゾーン獲得に要したアテンプト数合計の昇順によりつける。
- ⑧ 他のホールドが壁についた状態で競技を行います。他のホールドを使用した際は注意をし、使用前の体勢に戻って競技再開としますが、戻れない場合や同じ箇所を再度使用した場合はアテンプト終了となります。

<予 選> コンテスト方式、6 ボルダー、60 分間

- ① 選手は各エリアに順番に並び、各自で No と氏名を記入した予選成績表を審判に渡し、登るボルダーを伝えてから登る。1 回のアテンプト終了ごとに予選成績表を審判から受け取って確認し、成績に異議がある場合は必ずその場で審判に申し出ること。後からの抗議は無効となる。
- ② 各ボルダーあたりの最大アテンプト数は 5 回とする。

<決 勝> IFSC 決勝方式、3 ボルダー、各 4 分間

- ① 事前に各ボルダー 2 分間のオブザベーションを男女同時に全員で行う。
- ② 決勝の成績で同順位の場合は、予選カウントバックにより順位をつける。それでも同順位の場合、IFSC 競技規則 7.10.4 に基づき順位を確定する。タイブレークボルダーは実施しない。

5 各学校への事前のお願い

申込み後にキャンセル、選手変更等がある場合は、わかり次第至急連絡をお願いします。

連絡先：090-9828-4293（阿部携帯）

6 役員分担

進行・統括・受付・成績集計 阿部（松戸馬橋）

審判（予選） 粕谷（幕総）・三浦（幕総）・高林（東海大浦安）

小平（商大付属）・渡邊悠太（松戸馬橋OB）・公野（松戸馬橋3年）

審判（決勝） 高林（東海大浦安）・粕谷（幕総）・三浦（幕総）・小平（商大付属）

ルートセッター 渡邊悠太（松戸馬橋OB）・阿部（松戸馬橋）・公野（松戸馬橋3年）

タイムキーパー 多胡（市立船橋）

予選個人成績シート回収 佐藤（長生）・高橋（千城台）・高橋（千葉北）

決勝アイソ 竹縄（松戸馬橋）・石田（千城台）